



ふくしの ひろば

鹿児島

ふれあいネットワーク

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

第178号
平成24年1月1日号発行



全羅北道社会福祉協議会役職員来鹿 H23.11.2～11.6

総務部情報

- 会長年頭の挨拶 2
- 全羅北道役職員来鹿

地域福祉部情報

- 地域福祉推進大会 3

《地域と共に手をつなぐボランティア》

- ボランティアポイント制度の
普及をめざして 4

福祉人材・研修センター情報

- 福祉の職場就職面談会 5

長寿社会推進部情報

- 高齢者を中心とした地域貢献活動団体
表彰式・事例発表会 ... 6

長寿社会推進部情報

- ねんりんピック2011熊本 7
- かごしまねりん大学公開講座を開催 7
- 成年後見制度ってどんな制度？② 8

施設福祉部情報

- 介護フォトコンテストかごしま 9
- 「おじゃったモールさつま川内館」が
オープンしました 9

介護実習・普及センター情報

- 介護講座のご案内 10
- 排泄ケアワンポイントアドバイス 10

《県共同募金会からのお知らせ》

- 赤い羽根共同募金への
ご協力ありがとうございました 11
- インフォメーション 12



新春を迎えて



社会福祉法人
鹿児島県社会福祉協議会
会長 溝口 宏二

あけましておめでと
うございます。

皆様におかれまして
は、健やかに平成24年の
新春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

昨年は、3月11日に発
生した東日本大震災、こ
れに伴う福島第一原子
力発電所事故、欧州のソ
ブリリススクや長びく
円高は、国内経済に大き
な影響を与えておりま
す。

被災地域の復旧・復興
の予算措置、関連法案も
成立し、これから本格的
な復興への取り組みが進
められることとなりま
す。英知を結集し、迅速
かつ効果的な取り組みが
なされることを願うば
かりであります。

さて、本年は辰年、辰
は「漢書『律曆志』で「動
いて伸びる・整う」の意
味であり、草木が盛んに
成長し整う状態を表す
といえます。津波で何も
かも奪われた様を思う
につけ、本年が復旧・復
興に向けた大きな第一
歩となるよう祈りたい
と存じます。私も鹿児島
島県社協も「昇り龍」の
ごとく地域福祉の推進
に邁進する年としたい
と思っております。

そして、関係機関・団
体の方々との連携をさ
らに密にしていかなけ
ればならないと存じま
す。皆様の更なるお力添
えをお願いいたします。

新しい年が、素晴らし
いものになるようお祈
り申し上げ、年頭のご挨拶
といたします。



大韓民国 全羅北道社会福祉協議会役員 鹿児島県内福祉施設の研修視察や県保健福祉部長を表敬訪問



鹿児島県社会福祉協議会と大韓民国 全羅北道社会福祉協議会は、両
県・道民の福祉増進に寄与することを目的に、平成12年度から相互交流
を行っており、今年度は11月2日から6日の5日間の日程で、全羅北道
社会福祉協議会役員が来鹿されました。県内の社会福祉施設や県保健
福祉部長への表敬訪問のほか、「おはら祭り」や特産品である「黒酢の壺
畑」、名誉駅長の案内による「嘉例川駅」の見学なども行いました。

今回で4回目となる全羅北道

社会福祉協議会役員との公式訪
問には、昨年2月に会長に就任し
たばかりの車宗燻(チャジョンソ
ン)会長をはじめとする役員
に、柳基赫(ルウギヒョク)全羅北
道庁福祉女性保健局長などが加
わり、総勢十一人での鹿児島訪問
となりました。

○訪問先での概要

初日最初の訪問先である「ハ
トピアかごしま」では、身体障害
者更生相談所の駒路所長から韓
国語での施設概要をはじめ各機
関の事業実績等の説明があり、意
見交換や施設見学等を行いまし
た。

次に、県社会福祉センターに場
所を移して「両道・県社会福祉協
議会役員懇談会」が行われ、県
社会福祉協議会の事業概要や東
日本大震災被災地支援等の報告
の後、意見交換等を行いました。

二日目は、南九州市にある社会
福祉法人敬和会を訪問しました。

「第一知覧育成園」や「障害者就労
支援センターみらい」等における
障害者の就労支援の取組や椎茸
及び鯉パックの生産設備とその
規模に驚いた様子でした。

三日目は最初に、鹿児島市にあ
る社会福祉法人恵心会の「特別養
護老人ホーム清谿園」を訪問しま
した。ここでは日本と韓国の介護
保険制度の違いや介護保険対象
外のサービス提供にも積極的に
取り組む運営方針等について熱心
に質問をしていました。

最後は、始良市にある社会福祉
法人建昌福祉会を訪問し、「さざ

○結びに

今回の全訪問先において、韓国
の福祉施策等と対比しながら、終
始運営状況等について熱心な意
見交換が行われ、私どもにとつて
も改めて課題や問題点が浮き彫
りになった有意義な訪問となり
ました。

終わりに、全訪問先の社会福祉
法人及び県関係機関等多くの
方々から多大なご支援ご協力を
いただき、また訪問に際しまして
盛大な歓迎をいただきましたこと
に対しまして、厚くお礼を申し
上げます。



施設見学・意見交換等の様子
(上:就労支援センターみらい)
(下:清谿園)



園児による歓迎の様子
(建昌保育園)

平成23年度
鹿児島県

地域福祉推進大会

～あんしん・安全に暮らせる地域社会づくり～



平成23年度鹿児島県地域福祉推進大会が、平成23年10月28日(金)鹿児島市民文化ホール第2ホールにおいて県内の保健福祉医療関係者約800名の参加のもと盛大に開催されました。

大会においては、永年にわたり県内の福祉の充実・向上のためにご尽力をいただきました個人や団体等に対して県知事表彰をはじめ県社協会長表彰、県共同募金会会長表彰の表彰が行われました。

受賞されました皆さま方のご功績とご苦勞に対し、深く敬意を表します。

【表彰内訳】

- ・鹿児島県知事表彰 75名、 6団体
- ・鹿児島県社会福祉協議会会長表彰 229名、 8団体
- ・鹿児島県共同募金会会長表彰 12名、16地区
- ・中央共同募金会会長表彰伝達 (感謝楯 1名、1団体、感謝状 4名、7団体)

また、表彰式の後には、津軽三味線石井流師範による東北地方の伝統芸能の津軽三味線の調べと鹿児島大学大学院の井村准教授による「地震・津波災害から命を守る」と題して記念講演が行われました。



知事表彰



参加者



会長表彰

☆アトラクション

津軽三味線
(津軽三味線石井流師範)

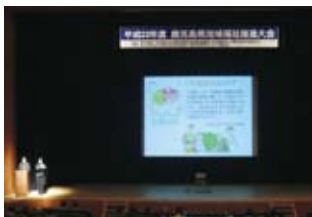


☆記念講演

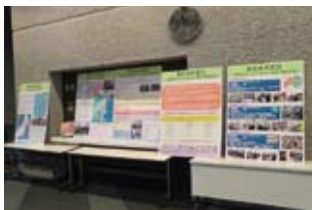
(鹿児島大学大学院准教授)



会場ロビーに掲示された東日本大震災災害ボランティア活動の様子と11月11日の「介護の日」のパネル風景



介護の日



災害ボランティア



青少年の心を耕す ボランティアポイント制度の普及をめざして

鹿児島県社会福祉協議会は平成22年度から2年間、伊佐市・薩摩川内市・垂水市の各市社会福祉協議会と連携協力して、「児童・生徒のボランティア活動啓発促進モデル事業」（ボランティアポイント制度）に取り組んできました。ここでは伊佐市の現状やこの制度の内容についてお知らせし、平成24年度からの県下各市町村社会福祉協議会での取組に期待したいと思います。

伊佐市の取組



ポイントの押印(本城コミュニティ協議会)

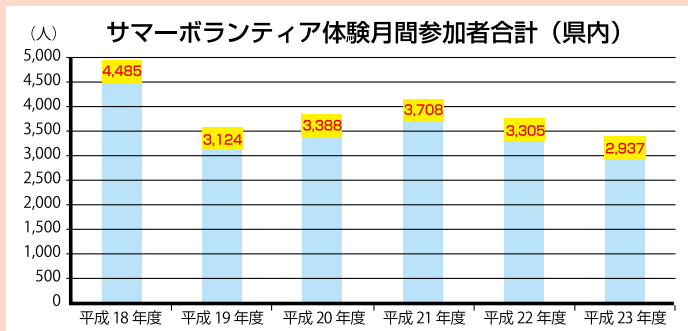
認定証の交付(伊佐市立本城小学校)

伊佐市では、コミュニティ協議会や福祉施設・学校等の協力を得て、小・中・高の各1校で重点的に取り組んでいます。

2年目の今年度は、他校の児童・生徒からのポイントカードの発行申請もみられこの事業も順調に進んでいます。

このボランティアポイント制度は

青少年のボランティア活動を認め・励ますことによって、ボランティア活動参加への意欲を高めるとともに、思いやりの心や福祉の心を育むことを目的としています。



対象者 小学生・中学生・高校生

対象となる活動 地域社会や個人・団体の社会貢献となるボランティア活動

- (例) ①道路・河川・自治会・校区公民館等の清掃活動 ②募金活動、献血
 ③花壇・緑化活動 ④文化・郷土芸能伝承活動 ⑤市行事・イベント等参加
 ⑥災害ボランティア活動 ⑦子ども会活動等の世話 ⑧施設訪問など

ポイントカードの活用方法

(1)全体の流れ



(2)ポイントカードの配布(窓口)

市町村社会福祉協議会・校区公民館・学校・社会福祉施設など

(3)ポイントの発行

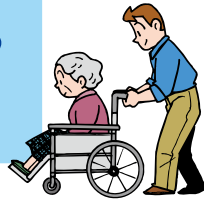
窓口でボランティアの内容を確認したうえで、カードにスタンプ押印

(4)ボランティア活動認定証の交付(ある一定のポイント数がたまったら)

社会福祉大会・学校行事等の場で交付します。

福祉の仕事 応援します！ お気軽にご参加ください

福祉の職場 就職面談会



同時開催：求職登録・情報提供・各種相談コーナー



日時 平成24年 **2月3日(金)**
午後1時～午後4時(受付12時30分～15時30分)

場所 かごしま県民交流センター
2階 大ホール
(鹿児島市山下町14番50号)

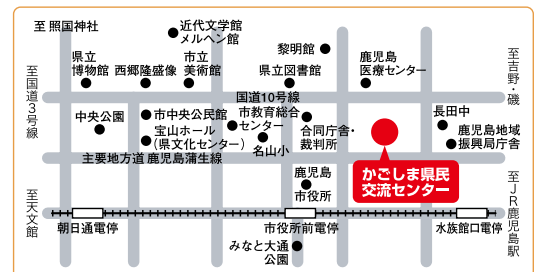
対象者 福祉の職場への就職希望者
・一般の方
・大学・短大・専門学校生
(24年3月卒業予定者)

主催 鹿児島県、鹿児島県社会福祉協議会
共催 ハローワークかごしま
後援 県社会福祉施設経営者協議会
県内社会福祉施設種別協議会

お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 県社会福祉センター6階
TEL 099-258-7888 FAX 099-250-9363
E-mail jinzai-kyu@kaken-shakyo.jp



平成23年度 介護支援専門員実務研修受講試験結果について

この試験は、介護支援専門員になるための実務研修の受講を希望する方が、介護支援専門員にふさわしい基礎的知識と技能を修得しているかを確認するために平成23年10月23日(日)に実施されました。

試験結果の詳細については、下記のとおりです。

- 1 **合格発表日** 平成23年12月9日(金) 午前10時
- 2 **発表方法** (1) 受験番号の提示。(県庁介護福祉課、県社会福祉センター、県大島支庁)
(2) 受験者全員への合否通知。
(3) 鹿児島県及び県社会福祉協議会ホームページへの掲載。
- 3 **試験結果** (1) 受験者数…2,733人
(2) 合格者数… 367人
(3) 合格率… 13.4%
- 4 **その他** なお、合格者は、平成24年1月から3月に行われる実務研修を受講することにより、介護支援専門員として介護サービス計画作成等の実務に就くことができます。

平成23年度 高齢者を中心とした 地域貢献活動団体表彰式・ 事例発表会



去る10月27日(木)、鹿児島市のかごしま県民交流センターで「高齢者を中心とした地域貢献活動団体表彰式・事例発表会」を開催しました。この大会は県の「元気高齢者チャレンジ推進事業」の一環として本会が県と共催で行ったもので、今回で4回目になります。県内各地域で高齢者が中心になって地域おこしや様々なボランティア活動を行っている団体を募集し、県下7地域から代表として選ばれた7つの団体が表彰されました。続いて各団体から活動状況の発表がありました。

北は出水市から南は伊仙町まで約400人の参加者があり、事例発表・基調講演ともに大変感動した、元気ももらった、自分たちも一層頑張りたいなどの感想が寄せられました。

受賞団体は次のとおりです。

- ① 鹿児島地域 西坂元町長寿会(鹿児島市)
- ② 南薩地域 地域活動組織 紙ふうせん(南さつま市)
- ③ 北薩地域 NPO法人 さわやか出水女性の集い(出水市)
- ④ 始良・伊佐地域 豊町クローバーサロン(始良市)
- ⑤ 大隅地域 鹿屋市中央生活学校吾平支部(鹿屋市)
- ⑥ 熊毛地域 中種子町旭町老人クラブ(熊毛郡中種子町)
- ⑦ 大島地域 阿三島唄・踊り同好会(大島郡伊仙町)



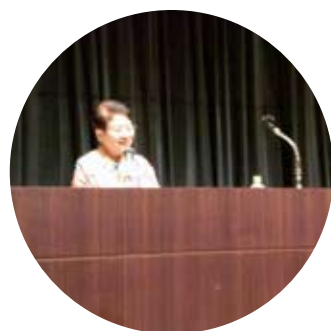
- ① 受賞者の皆さん
- ② 西坂元町長寿会
- ③ 紙ふうせん
- ④ さわやか出水女性の集い
- ⑤ 豊町クローバーサロン
- ⑥ 鹿屋市中央生活学校吾平支部
- ⑦ 中種子町旭町老人クラブ
- ⑧ 阿三島唄・踊り同好会



この後、かごしま女性政策研究会副代表の大原タツ子氏による基調講演がありました。

演題：“高齢期をいきいきと”～一人ひとりが主役のまちづくり～

大原氏は鹿児島県の栄養士や県農協中央会の生活指導員を永年勤められた後、農山漁村の地域活性化や男女共同参画社会の実現、高齢化社会における様々な課題に関する実践活動支援のため永年活躍されました。現在、県むらづくり応援隊講師としても活躍中。このご経験をもとに、身近な健康づくりと仲間づくりの大切さ、地域づくりの心構え、そして一人ひとりがこれからをどのように生きていくかなど、具体例を示しての分かりやすいご講演に、参加者は勇気と意欲ももらった、新鮮で反省した、地域で役立てたい等々深く感動したとの感想が寄せられました。



14日の出発日には、県庁で結団式が行われました。監督・選手は揃いのユニフォーム姿で式に臨み、県旗の授与、県知事などの激励や激励賞の贈呈を受け、最後にテニスの瀬下安男選手が「精一杯プレーするとともに鹿児島県を全国の皆さまにPRして参ります」と決意を述べました。

大会初日には熊本県民総合運動公園陸上競技場で常陸宮殿下ご夫妻を迎えて総合開会式があり、本県



第24回全国健康福祉祭(ねんりんピック2011熊本)は、去る10月15日から18日までの四日間、熊本県で開催されました。鹿児島県からは諏訪弘美県社会福祉協議会常務理事を団長に、21競技に監督・選手153人・役員10人の総勢163人が参加しました。

ねんりんピック2011熊本 鹿児島県選手団163人参加

選手団は旗手(瀬下安男選手)を先頭に堂々の行進を行いました。

16日、17日は熊本県下9市4町で交流大会が行われ、当県の選手は長年の経験と日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し各種目で好成績を上げました。

また、次回(第25回)は、「伊達の地に 実れ!ねんりん いきいきと」をテーマに、宮城県で開催されます。

平成23年度 「かごしまねんりん大学」 公開講座を開催

地域活動に意欲のある高齢者の方々に対して、社会参加に役に立つ知識や技能を修得していただく機会を提供する「かごしまねんりん大学」の講座の一つとして、平成23年10月30日(日)に鹿児島県立奄美図書館において「公開講座」を開催し、137人の受講がありました。



講演では、地域力を活かした定住促進事業や農業地域振興事業に取り組んでいる薩摩川内市峰山地区コミュニティ協議会会長の徳田勝章氏が、「でんでんたいこ田田太古の響くスローな都市づくり」と題して話されました。

住民が力を合わせて整備し県内外から多くの人々が訪れている柳山アグリランドの映像を見た受講生からは、“ぜひ現地を見てみたい”、“私もそのような場所に住んで、一緒に活動してみたい”などの声が聴こえてきました。



講師の徳田氏

成年後見制度ってどんな制度？②

今回は成年後見人の仕事、任意後見制度、成年後見登記制度などについてご紹介します。

Q;ひとり暮らしの母親は最近判断能力が落ちて来ているのではと心配です。

都会にいる自分に代わって母親を守ってくれる何かいい制度はないでしょうか。

A;前号(平成23年11月号)で法定成年後見制度についてご紹介しましたが、判断能力が不十分になる前にあらかじめ契約により支援を決めておく任意後見制度があります。

①成年後見人の仕事

(1) 成年後見人に選ばれる人

家庭裁判所が、最も適任と思われる人を選任します。本人の親族以外にも、弁護士、司法書士、社会福祉士、税理士等の専門職や、法律や福祉に関わる公益法人その他の法人が選ばれることがあります。

(2) 成年後見人の仕事

成年後見人の仕事は、本人の財産行為や契約などの法律行為に関するものに限られており、食事の世話や実際の介護などは、一般に成年後見人の仕事ではありません。具体的な仕事としては、次のようなものがあります。

- 財産目録を作る。今後の予定と収支計画を立てる。
- 本人の財産を管理する(預金通帳などを管理し、収入支出の記録を残す)。
- 本人に代わって契約を結ぶ(介護サービスの利用契約や施設の入所契約など)。
- 家庭裁判所に報告する(行った仕事の報告をし、必要な指示を受ける)。

②任意後見制度について

(1) 任意後見制度とは、どのような制度ですか？

本人に十分な判断能力があるうちに、将来、判断能力が不十分な状態になった場合に備えて、あらかじめ自ら選んだ代理人(任意後見人)に、自分の生活、療養看護や財産管理に関する事務について代理権を与える契約(任意後見契約)を、公証人の作成する公正証書によって結んでおくものです。

(2) 任意後見契約の効力の発生

- ①本人の判断能力が低下した場合、
- ②家庭裁判所に任意後見監督人選任の申立てをします。
(申立をすることができる人:本人、配偶者、4親等内の親族、任意後見人受任者など)
- ③家庭裁判所が任意後見監督人を選任して、任意後見契約の効力が発生します。

(3) 任意後見契約を結ぶために必要な費用

公正証書作成の基本手数料(11,000円)、登記嘱託手数料(1,400円)、法務局に納付する印紙代(2,600円)、その他(本人に交付する正本等の用紙代、登記嘱託書郵送用の切手代など)です。

(4) 任意後見人の仕事、権限

任意後見人は、任意後見契約で受任した事務(例えば銀行取引に関する事務、介護保険に関する事務など)を行います。任意後見人には、契約内容にしたがって代理権が与えられて、上記のような法律行為を行うことができますが、同意権や取消権はありません。

(5) 任意後見監督人の仕事、役割

任意後見監督人は、任意後見人を監督し、その仕事ぶりを定期的に家庭裁判所に報告します。

③成年後見登記制度について

成年後見人などの権限や任意後見契約の内容などは、後見開始の審判がされたときや、任意後見契約の公正証書が作成されたときなどに、家庭裁判所または公証人からの嘱託により法務局に登録されます。法務局は、契約の締結の際などに請求があれば、登記されているかどうかの「登記事項の証明書」を交付します。

- 成年後見制度について詳しくお知りになりたい方は、県弁護士会(099-226-3765)、成年後見センター・リーガルサポート鹿児島支部(099-251-5822)、鹿児島家庭裁判所(099-222-7121)及び同裁判所の各支部にお問い合わせください。
- なお、成年後見制度を利用するまでではないが、自らの判断能力に不安のある方で、福祉サービスの利用の手続き、日常生活の金銭の支払い等にお困りの方については、社会福祉協議会が行っている「福祉サービス利用支援事業」を利用する方法もあります。県社協(099-257-3875)又は最寄りの市町村社協にご相談ください。

「介護の日」関連イベント[県老人福祉施設協議会の取り組み]

－ 介護現場からのメッセージ －

介護フォトコンテストかごしま

～支える手、支えてもらう想い、支え合うところ～

介護の職場は社会的に3K職場と扱われる風潮も垣間見え、人材確保に苦慮する事業者も少なくはありません。そこで、

- 介護を通じたふれあい、介護の醍醐味を振り返り現場で働く人に介護の魅力を再確認して頂く、
- 老後を心配されている方、介護をされている家族、これから介護をされるご家族に現場から介護の魅力を発信することを目的に、第1回「介護フォトコンテストかごしま」を実施しました。



県内61施設から225枚の応募を頂き、11月12日(土)イオン鹿児島ショッピングセンター(1F風の広場)で、パネル展と投票による全作品の審査会を開催したところ、千名を超える方々がご来場くださり、7百件に及ぶ投票を頂きました。

来場者は写真を丁寧に見入り、サービスを利用されている母親を探すお子様、笑顔が素晴らしいと感激される方、亡き母親を思い出したと涙する方もおられ、「来年もまた開催してください」とエールを頂きました。

今回、一般の方への介護現場の理解を主たる目的としておりましたが、私達が逆に、人の優しさ、温かさ、そして素晴らしい仕事をさせていただいていることを再認識させられました。

[県授産施設協議会からのお知らせ]

鹿児島県下初の「山の駅・物産館」型の障がい者就労支援施設

『おじゃったモールさつま川内館』が オープンしました!

「社会福祉法人ウイズ福祉会」(薩摩川内市入来町)の第二事業所として、障がい者就労支援施設『おじゃったモールさつま川内館』が11月19日(土)にオープンしました。

就労支援施設としての産直市場型物産館の運営への取り組みは鹿児島県下では初めてであり、各方面の期待と注目を集めています。

なお、この施設に使われている材木は全て鹿児島県産で、設計にあたっては国の伝統的建造物群保存地区にも指定されている入来麓武家屋敷をイメージした現代和風の形で、周りの田園地帯の景観とマッチしています。(かごしま木づかい推進事業を活用)

当館は国道328号線沿いの入来日の丸交差点(川内市街地・さつま町方面等が交差)に近く、車の往来も比較的多い場所にあり、安心・安全で新鮮な産地消型商品の品揃えを充実させた店内には、連日たくさんの方々が訪れ、施設で働く障がい者と地域の皆様との交流も深まっています。



鹿児島県授産施設協議会では支援・協力のもと、館内に特設コーナーを設けて頂き、12の会員施設が展示・販売しています。



薩摩川内市入来町浦之名7100-1
TEL:0996-21-4055 FAX:0996-44-2005

1月～3月 介護講座のご案内

講座名	日時	内 容	場 所	受講料等
地域介護講座(鹿屋市)	1月13日(金) 1月14日(土) 9:30～16:30	介護保険の理解, 転倒予防, 起居・移乗, 排泄ケア, 嚥下障害, 認知 症の理解など	県民健康プラザ 健康増進センター	500円
介護職スキルアップ研修 (認知症ケア)	2月12日(日) 10:00～16:30	認知症高齢者の理解・ケア グループワーク	かごしま県民 交流センター	4,000円
介護職スキルアップ研修 (排泄ケア)	2月21日(火) 10:00～16:30	排泄のメカニズム, 排泄のケア, オムツの選び方・あて方	かごしま県民 交流センター	4,000円
	2月22日(水) 10:00～16:30	ポータブルトイレ, 尿器などの選択	かごしま県民 交流センター	4,000円
介護者の健康管理教室	2月26日(日) 13:00～16:00	介護者の健康管理 簡単ヨガで心身リフレッシュ	かごしま県民 交流センター	500円
介護食講座	3月9日(金) 9:30～16:30	介護食と高齢期の栄養改善 調理実習	かごしま県民 交流センター	1,500円

*申込み方法等の詳しいことについては、鹿児島県介護実習・普及センターへお問い合わせください。

お問
合せ先

鹿児島県介護実習・普及センター

(運営：社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会)

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号
(かごしま県民交流センター内)

TEL 099-221-6616

FAX 099-239-0384

E-mail kaigo@kagoshima-pac.jp

URL <http://www.kagoshima-pac.jp>

排泄ケア

ワンポイント アドバイス



元気じゃっですか・笑ってますか(^^)

もし笑っていなければ、鏡の前でニコッとしてみましょう。

気持ちに少し余裕が持てると思います。

おむつを着ける事で自尊心が失われます。

● 本当におむつが必要ですか？立てますか？座れますか？で

おむつの種類を選ばなければいけないんです。ではどんなおむつが必要？

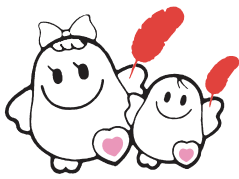
リハビリパンツを例に取りましょう。リハビリパンツにも色々あります。

サイズ、尿量、アウトターにひびかないもの、レギュラー、ボックスタイプのものと同様々です。使用する方をしっかり観察しましょう。

さあ！おむつを替えましょうから→排泄ケアをしましょう！

に言葉から変えてみませんか？

県共同募金会からの
お知らせ



☎ 099 (257) 3750
URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございました。

あけましておめでとうございます。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、お祈り申し上げます。

昨年は、東日本大震災が起こり、皆様には様々な場所で温かい善意をお寄せいただきました。ありがとうございました。

共同募金は、『じぶんの町を良くするしくみ』ですが、災害時のボランティア活動も支援しております。東日本大震災では、ボランティア活動を直接支援する「災害ボランティアNPO活動サポート募金」とともに、各県の共同募金からの支援がボランティアセンターの活動を支えています。

65回目の赤い羽根共同募金運動も、皆様の温かいご支援のもと、無事終了しました。浄財をお寄せいただいた方々、募金活動にご尽力いただいたボランティアの方々等に対しまして心から感謝申し上げます。

今年も、皆様の善意を生かし誰もが住み慣れた町で安心して暮らせるよう、地域福祉活動を支援してまいります。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。

「NHK歳末たすけあい」贈呈式

「NHK歳末たすけあい」の寄付金贈呈式が12月14日NHK鹿児島放送局で行われました。

NHK鹿児島放送局 松本 敦 局長、県共同募金会 溝口宏二 会長から児童福祉施設やグループホーム、市町村社会福祉協議会の代表へそれぞれ目録が贈呈されました。

児童福祉施設やグループホームへ遊具や電化製品などの贈呈のほか、各市町村社会福祉協議会の地域福祉活動に活用されました。



ありがとうのメッセージ

「赤い羽根号が今日も町中を走ります。」 南さつま市社会福祉協議会



多くの方々の善意により購入することができた赤い羽根号が、みなさまの温かい思いとデイサービスの利用者に乗せて、今日も町中を忙しく走り回っています。

赤い羽根が描かれた小さな車が走るたびに、笑顔のお年寄りが乗ったり降りたり…。一人ひとりの小さな思いが、わたしたちの住む町を少しずつ暮らし良い町へと変えていってくれているような、そんな気持ちにさせてくれます。みなさまの心温まる善意が、わたしの町にも届いています。

赤い羽根号、今日も笑顔をありがとう。

インフォメーション

information



みなさまのご厚意に感謝いたします。



次の方がたから、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。
ありがとうございました。(平成23年11月～平成23年12月)

○田之浦 悦子 様

○JAバンク鹿児島 様



チューリップの球根10,000球を寄贈され、
県社協からの感謝状を受け取られる
JA鹿児島県信連 理事長 内田 達也 様(右)
農林中央金庫鹿児島推進室 室長 府馬 和英 様(中央)

○鹿児島県生命保険協会 様



福祉車両を、日置市社協、奄美市社協、湧水
町社協にそれぞれ1台贈呈。
県生命保険協会 副会長 中野 敏郎 様(中央左)
奄美市社協 会長 前田 篤夫 様(中央右)

○あいおいニッセイ同和損害保険
株式会社 鹿児島支店 様



指宿市社協に車椅子1台を贈呈
鹿児島支店長 上田 徹 様(中央)
鹿児島支社長 佐藤 徹哉 様(右)
指宿市社協 会長 川内 芬 様(前列)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険

全国170万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>



特長は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行幸用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ペルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間保険料 | Aプラン... **280円** Bプラン... **420円** 天災タイプも
あります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、取扱代理店にお問合せください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社

広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779
E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp
★この広報紙は、共同募金会の協力を得て発行されています。